

令和5年度事業報告

I. 一般事項

1. 会員状況

令和5年度の会員状況は、次のとおりである。

会員種別	令和4年度末 会員数	入会数	退会数	増 減	令和5年度末 会員数	
正会員	133	2	3	△1	132	
賛助会員	12	0	0	0	12	
特別会員	行政機関等	208	0	2	△2	206
	学識経験者	49	0	2	△2	47
	小計	257	0	2	△4	253

2. 理事会

(1) 理事会決議（令和5年4月22日）

令和4年度事業報告の承認に関する件、令和4年度決算の承認に関する件、役員選任議案に関する件及び令和5年度通常総会に関する件につき、令和5年4月18日に会長から提案書を発出し、理事の全員から同意の、監事の全員から異議のない旨のそれぞれの意志表示が得られたので、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなした。

(2) 第1回理事会（第1回通常理事会）（令和5年5月22日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区）において開催し、令和5年3月8日から令和5年5月21日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告を行った。

(3) 第2回理事会（第2回通常理事会）（令和6年3月14日）

協会会議室において開催し、令和6年度事業計画及び収支予算の承認に関する件、次期幹事会員候補に関する件、次期役員候補に関する件、特定費用準備資金「顕彰事業引当資産（第二期）」の新設に関する件及び役員の賠償責任保険契約の締結に関する件について審議を行い、原案のとおり決議した。また、令和5年5月22日から令和6年3月13日までの代表理事及び業務執行理事の職務執行状況に関する報告及び会員の入会に関する報告を行った。

3. 総会

通常総会（令和5年5月22日）

ロイヤルパークホテル（東京都中央区日本橋蛸殻町）において開催し、令和4年度決算の承認に関する件及び役員選任に関する件について審議を行い、原案のとおり承認した。

また、令和4年度事業報告並びに令和5年度事業計画及び収支予算に関する報告を行った。

4. 委員会活動

(1) 企画運営会議

企画運営会議（議長：国本 勇（株大林組））を次のとおり4回開催した。

1) 第1回（令和5年4月13日）

理事会決議（4/22）及び令和5年度第1回理事会（5/22）の議案等について審議し、書籍「コンバージョン -実績と展望-」の発行、セミナーの開催結果等に関して報告を行った。

2) 第2回（令和5年9月14日）

理事会決議事項、事業推進委員会委員の承認及び会員の入会について審議し、書籍「建物の維持保全に関する情報管理のすすめ」等について報告を行った。

3) 第3回（令和5年12月7日）

令和6年度事業計画(素案)及び収支予算(骨格)及び第2回理事会の開催について審議し、ER作成者連絡会議に関する報告等を行った。

4) 第4回（令和6年2月15日）

令和6年度事業計画及び収支予算、特定費用準備資金「顕彰事業引当資産（第二期）」の新設、役員の賠償責任保険契約の締結、代表理事及び業務執行理事の職務執行状況の報告等について審議し、第33回BELCA賞の選考結果等について報告を行った。

(2) 事業推進委員会

委員会（委員長：南 典宏 三菱地所株）を2回開催し、今後取り組むべき調査研究・技術開発のテーマを選定した。

また、事業推進委員会のメンバーを中心に、「スマートウェルネスオフィス」をテーマとした勉強会を開催した他、2022年にZEB化改修を行った大成建設株の横浜支店、関西支店の見学会を行った。

(3) アドバイザリー委員会

諸般の事情により、開催を見合わせた。

II. 令和5年度の事業概要

1. ロングライフ化に資する人材の育成

(1) 建築・設備総合管理士（ビルライフサイクルマネジャー）等の資格付与・登録

「建築・設備総合管理士」について、認定委員会（委員長：山本 康友 東京都立大学客員教授）及び講習委員会（委員長：南 一誠 芝浦工業大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築・設備総合管理士」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪の2会場で開催し、受講者68名のうち58名を修了者として認定した。そのうち登録申請のあった49名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により85名を登録した。

また、「建築・設備総合管理技術者」から「建築・設備総合管理士」への移行申請のあった3名を「建築・設備総合管理士」として登録した。

これらの結果、令和5年度末の「建築・設備総合管理士」、「建築・設備総合管理士補」及び「建築・設備総合管理技術者」資格登録者総数は928名となった。

区 分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	68名	58名	49名
更新講習等	85名	85名	85名
移行申請	—	—	3名

(2) 建築仕上診断技術者の資格付与・登録

「建築仕上診断技術者（ビルディングドクター〈非構造〉）」について、認定委員会（委員長：本橋 健司 芝浦工業大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：近藤 照夫 ものづくり大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築仕上診断技術者」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪、福岡の3会場で開催し、受講者171名のうち124名を修了者として認定した。そのうち登録申請のあった117名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により817名を登録した。

これらの結果、令和5年度末の「建築仕上診断技術者」資格登録者総数は4,363名となった。

区 分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	171名	124名	117名
更新講習等	821名	821名	821名

(3) 建築設備診断技術者の資格付与・登録

一般財団法人日本建築設備・昇降機センターと共同で資格付与している「建築設備診断技術者（ビルディングドクター〈建築設備〉）」について、認定委員会（委員長：鎌田 元康 東京大学名誉教授）及び講習委員会（委員長：川瀬 貴晴 千葉大学名誉教授）の審議、手続きを踏まえ、「建築設備診断技術者」資格取得講習を新型コロナウイルス感染予防に配慮しつつ、東京、大阪の2会場で開催し、受講者82名のうち70名を修了者として認定した。そのうち、登録申請のあった69名を登録した。また、登録の有効期間（5年間）が経過する者に対する更新講習等により374名を登録した。

これらの結果、令和5年度末の「建築設備診断技術者」資格登録者総数は2,384名となった。

区分	受講者数	修了者数	登録者数
資格取得講習	82名	70名	69名
更新講習等	374名	374名	374名

(4) 資格者に対するフォローアップ

1) BELCA Letter

資格登録後の技術の維持・向上に資するため、情報誌「BELCA Letter」のVol.49を令和5年7月に、Vol.50を令和6年1月に発行した。

2) BELCA 資格者セミナー

BELCA資格者等に対して、技術の維持・向上及び業務展開に役立つ情報を提供するため、BELCA資格者セミナー「高経年マンションのプロパティマネジメントにむけて」を開催した。

講演内容	高経年マンションのプロパティマネジメントにむけて
講師	秋山 哲一（東洋大学名誉教授）
開催地	東京
開催日	令和6年3月15日
参加者	38名

(5) 認定ファシリティマネジャー資格試験及び資格試験対策講座の開催

認定ファシリティマネジャー資格試験（公益社団法人日本ファシリティマネジメント協会、一般社団法人ニューオフィス推進協会と共催）を、令和5年5月27日から6月4日にかけて学科試験、6月24日に論述試験を行うことにより実施した。

その結果、756名が受験し、333名がファシリティマネジャーとして認定された。

また、認定ファシリティマネジャー資格試験対策講座（一般社団法人ニューオフィス推進協会と共催）では、令和5年度より講座開催方式をWeb配信（事前録画配信）に変更し、104名が受講した。

(6) 次代を担う人材の育成

協会設立35周年記念事業として、建築物のロングライフ化に資する研究を行っている大学院生の研究3件を選定し、助成金の交付による支援を実施した。

選定された個人	大学名	論文タイトル
佐伯 直彦	東京大学大学院工学研究科建築学専攻（修士）	セメント硬化体の炭酸化反応に含水状況が及ぼす影響
中藪 聖子	日本大学大学院生産工学研究科建築工学専攻（修士）	難燃薬剤処理木材の性能に関する研究
疋島 宗哉	芝浦工業大学大学院理工学研究科建築学専攻（修士）	サブテラヘルツ波を用いたコンクリート内の鉄筋腐食に対する非破壊・非接触型評価手法の検討

2. ロングライフ化の推進に必要な調査研究・技術開発及び情報発信

(1) 調査研究・技術開発

1) 小冊子「建物診断のおすすめ（第3版）」の作成

小冊子「建物診断のおすすめ」は建物に関する種々の診断を分かりやすく解説したもので、前回平成29年の改訂後の法令改正や社会情勢の変化に対応した改訂を行った。

2) 小冊子「建物の維持保全に関する情報管理のすすめ」の作成

建物を適切に運用するには適切な維持保全計画の作成とその計画に基づく維持保全の実施が重要であるが、そのためには、維持保全に関係する情報を関係者間で建物のライフサイクルを見通した上で引き継ぐことが必要となる。

今般、建物所有者等が建物のライフサイクルマネジメントの一環として行うべき情報管理に関する基本的な考え方について、小冊子として取りまとめた。

3) 書籍「－不動産リスクマネジメントのための－エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A」の改訂

エンジニアリング・レポートの普及啓発のために平成29年に発行した「－不動産リスクマネジメントのための－エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A」について、発行後の法令改正や社会情勢の変化に対応した改訂を行った。

4) 書籍「タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル（第4版）」の改訂

外壁の定期的診断業務において基準書として活用されている「タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル」（初版：平成9年）について、平成21年の前回改訂以降の法令改正等を踏まえた改訂を行った。

5) 書籍「木造・木質建築 長寿命化レシピ集」の作成

脱炭素、資源循環などの社会のニーズが高まり、建築物における木材利用が促進され、中大規模の木造・木質建築が増加している。一方で、中大規模木造木質建築物においては、維持管理を考えるための裏付けとなるデータが物件の数や築年数から充分ではない現状がある。

このような背景から、今ある木に関する技術や情報の集積を行い、木造・木質建築のライフサイクルマネジメントの考え方などを記述した書籍「木造・木質建築 ー長寿命化レシピ集」を発行した。

6) 国土交通省総合技術開発プロジェクト「既存杭の活用と宅地擁壁の補強に係る試設計に関する基礎情報整理業務」他計2件の事務局運営業務受託

国土交通省国土技術政策総合研究所より事務局運営業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

7) 国土交通省総合技術開発プロジェクト「住宅・建築物の新たな性能評価法等の方向性に関する基礎的情報収集業務」他計2件の事務局運営業務受託

国土交通省国土技術政策総合研究所より事務局運営業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

8) 国立研究開発法人建築研究所「中高層木造建築技術の防耐火設計の標準化に係るヒアリング補助業務」の受託

国立研究開発法人建築研究所より事務局運営業務を受託し、委員会の運営支援を行った。

(2) 情報発信

1) 機関誌「BELCA NEWS」による情報発信

編集委員会（委員長：小松 幸夫 早稲田大学名誉教授）を4回開催し、次のとおり機関誌

BELCA NEWS を発行するとともに、会員、関係団体、報道機関等に配布した。

号数	主な内容	
183号	刊行年月	令和5年4月
	特集	LCCO ₂ 削減に向けた新たな潮流
	トップ・オピニオン	東急建設(株) 東洋熱工業(株)
	会員コーナー	(株)東京カンテイ
184号	刊行年月	令和5年7月
	特集	建物とみどり
	トップ・オピニオン	(株)東京建築検査機構 (株)神奈川建物リサーチ・センター
	会員コーナー	(株)リンレイ
185号	刊行年月	令和5年10月
	特集	建築物の水害対策
	トップ・オピニオン	(株)梓設計 飛島建設(株)
	会員コーナー	住友林業(株)
186号	刊行年月	令和6年1月
	特集	宿泊施設改修の最新動向
	トップ・オピニオン	(株)西原衛生工業所
	会員コーナー	アイカ工業(株)

2) 調査研究・技術開発の成果図書による情報発信

調査研究・技術開発の成果として、次の図書を刊行した。

発行年月	書籍名
令和5年5月	－不動産リスクマネジメントのための－ エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A (第2版)
令和5年9月	建物診断のおすすめ (第3版)
令和5年9月	建物の維持保全に関する情報管理のすすめ
令和5年9月	タイル外壁及びモルタル塗り外壁定期的診断マニュアル(第4版)
令和6年3月	木造・木質建築 長寿命化レシピ集

3) セミナー等による情報発信

建物のロングライフ化に関する情報提供のため、新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、次のセミナーや講習会を開催した。

- ① BELCA 会員の新技术等の説明会「～床材のメンテナンスの最新技術～「リンレイテクニカルスタジオ」見学会」

(株)リンレイの2021年に開設された展示施設の「リンレイテクニカルスタジオ」の説明&見学会を開催した。

開催日:	令和5年4月14日
会場:	リンレイテクニカルスタジオ
参加人数:	20名
講師:	(株)リンレイ

- ② BELCA 会員の新技术等の説明会「維持管理等における予知保全の最先端技術」

建物の運用・維持管理に際して予知保全の考え方を取入れた技術について、それぞれ紹介する説明会を開催した。

開催日：	令和5年4月27日
会場：	BELCA 会議室
参加人数：	19名
講師：	柴田 英昭、池永 武史 ((株) FMシステム) 菅原 隼渡 (能美防災 (株)) 関山 雄介 (大成建設 (株))

③ 建築物の設計・施工をめぐる法的問題

建築物における法的問題を解説するセミナーを開催した。

開催日：	東京会場：令和5年6月29日 大阪会場：令和5年7月7日
会場：	東京会場：A P 浜松町 大阪会場：A P 大阪茶屋町
参加人数：	東京会場：67名 大阪会場：37名
講師：	大森 有理弁護士 (大森法律事務所パートナー) 長谷川貴大弁護士 (大森法律事務所)

④ セミナー「建築物の運用時環境性能評価の必要性～カーボンニュートラル社会の実現に向けて」

環境認証等評価建物の実際の運用時の状況や改善手法等について、事例等含めて解説するセミナーを開催した。

開催日：	令和5年8月7日
会場：	A P 浜松町
参加人数：	57名
講師：	土佐林忠史 (ER 作成者会議幹事長、(株)シティエボリューション) 一ノ瀬雅之 (東京都立大学)

⑤ セミナー「～事例から学ぶ～コンバージョン 実績と展望」(WEB 配信あり)

令和5年3月に発行した書籍「～事例から学ぶ～コンバージョン 実績と展望」を用いて、様々なコンバージョンの事例について執筆者が解説するセミナーを開催・Web 配信した。

開催日：	令和5年9月6日 (公開収録) (WEB 配信 令和5年9月25日～12月22日)
参加人数：	7名
講師：	南 典弘 (三菱地所(株)) 高橋清紀、柳楽和也 ((株) NTTファシリティーズ) 辻村一義 ((株) アール・アイ・エー) 丹羽勝巳 ((株) 日建設計)

⑥ WEB セミナー「ER ハンドブック」(第2版)を用いて ER 作成の専門家が解説 不動産投資・取引におけるエンジニアリング・レポート (ER) の意義・活用の仕方

令和5年5月に改訂した書籍「～不動産リスクマネジメントのための～エンジニアリング・レポート(ER)ハンドブック Q&A (第2版)」を用いて、ER の意義や読み方等含めて活用の仕方を専門家が解説するセミナーを Web 配信した。

配信期間：	令和5年10月10日～11月17日
参加人数：	44名
講師：	織田 雄洋 (ER 作成者連絡会議 幹事、(株)東京建築検査機構) 中里 謙 (ER 作成者連絡会議 幹事、SOMPOリスクマネジメント(株)) 藤原 宏征 (ER 作成者連絡会議 幹事、(株)竹中工務店)

小川 哲夫 (ER 作成者連絡会議 幹事、デロイト トーマツ PRS(株)) 表 武史 (ER 作成者連絡会議 幹事、東京海上ディーアール(株))
--

⑦ 維持保全計画作成講習会

令和 2 年 7 月に改訂した「建築・設備維持保全計画の作り方 (新訂 2 版)」を用いて、維持保全計画を作成する際の要点や活用事例を解説し、計画の中で特に重要な実施体制や点検計画の作成等の演習を行う講習会を開催した。

開催日:	令和 5 年 12 月 14 日 (東京会場 1 回目) 令和 6 年 2 月 29 日 (東京会場 2 回目) 令和 6 年 3 月 13 日 (大阪会場)
会場:	BELCA 会議室 (東京会場) 新大阪丸ビル別館 (大阪会場)
参加人数:	各回計 39 名
講師:	窪田 豊信 (日本管財(株)) 佐藤 哲 (東京建物(株)) 市川 圭太 (ダイケンエンジニアリング(株))

⑧ BELCA 会員の新技术等説明会「維持保全における DX の推進」

診断業務、施設管理等業務の分野における DX の推進を取り入れた技術・取組について紹介する説明会を開催した。

開催日:	令和 6 年 2 月 7 日
会場:	BELCA 会議室
参加人数:	20 名
講師:	杉山 和也 (有スギテック) 西 洋祐 (アズビル(株)) 椿 幹夫 (株梓設計)、松澤 亮 (株梓総合研究所)

⑨ BELCA 会員の新技术等の説明会「タイル外壁の改修工法に関する説明&体験会」(大阪会場)

外壁タイルの浮き・剥離の補修・改修工法である「ハイブリッドクイック工法」の詳細説明と工法機材を用いた実演及び体験会を大阪で開催した。

開催日:	令和 6 年 3 月 14 日
会場:	第二吉本ビルディングオフィスタワー会議室
参加人数:	30 名
講師:	堀 宏一朗 (株ホリ・コン)

⑩ 資格者セミナー「高経年マンションのプロパティマネジメントにむけて」(再掲)

BELCA 資格者等に対して、技術の維持・向上及び業務展開に役立つ情報を提供するため、BELCA 資格者セミナー「高経年マンションのプロパティマネジメントにむけて」を開催した。

開催日:	令和 6 年 3 月 15 日
会場:	AP 浜松町
参加人数:	38 名
講師:	秋山 哲一 (東洋大学名誉教授)

⑪ 演習型セミナー「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集 (改訂版) を用いた長期修繕計画策定」

令和 2 年 3 月に改訂した書籍「建築物のライフサイクルマネジメント用データ集」を用いて、データの活用方法を解説し、長期修繕計画の策定を演習するセミナーを開催した。

開催日:	令和 6 年 3 月 15 日、21 日 (2 回)
------	----------------------------

会 場：	BELCA 会議室
参加人数：	14 名、11 名
講 師：	竹内 圭二（大成建設株） 谷津 博邦（清水建設株）

⑫ セミナー「木造・木質建築 ー長寿命化レシピ集」出版セミナー

令和 6 年 3 月に発行した「木造・木質建築 ー長寿命化レシピ集」をテキストとし、木造・木質建築の設計・施工、また運用等の事例に関して解説するセミナーを開催した。

開 催 日：	令和 6 年 3 月 25 日（公開収録。後日 WEB 配信予定）
会 場：	AP 浜松町
参加人数：	40 名
講 師：	大庭 拓也（(株)日建設計） 小椋 健二（住友林業（株）） 辻 靖彦（(株)大林組）

4) ホームページによる情報提供

BELCA 資格、BELCA 賞、書籍、セミナー、協会の概要等の情報をホームページに掲載し、協会活動の周知を図った。また、トップページの刷新を図った。

3. ロングライフ化を助長するための表彰・評価

(1) BELCA 賞の表彰

選考委員会（委員長：三井所 清典 芝浦工業大学名誉教授・(株)アルセッド建築研究所 代表取締役）において、第 33 回 BELCA 賞として、長年にわたり適切に維持保全している模範的な建築物（ロングライフ部門）を 4 件、優れた改修を実施した模範的な建築物（ベストリフォーム部門）を 6 件選定し、BELCA NEWS やホームページへの掲載、メディアへの公表を行い、周知した。なお、第 32 回 BELCA 賞の表彰式は令和 5 年 5 月 22 日にロイヤルパークホテル（東京都中央区）で開催した。

1) ロングライフ部門

建築物名	所在地
紀伊國屋ビルディング	東京都新宿区
旧山口萬吉邸（kudan house）	東京都千代田区
広島県庁舎本館、南館、議事堂、北館、農林庁舎	広島県広島市
立教女学院 高等学校校舎・講堂	東京都杉並区

2) ベストリフォーム部門

建築物名	所在地
GOOD CYCLE BUILDING 001 浅沼組名古屋支店	愛知県名古屋市
国立代々木競技場	東京都渋谷区
静岡新聞・静岡放送東京支社	東京都中央区
東郷の杜 東郷記念館	東京都渋谷区
歳吉屋-BYAKU Narai-	長野県塩尻市
丸福樓	京都府京都市

(2) ロングライフ化に資する技術等の評価

1) 優良補修・改修工法等評価事業の実施

委員会（委員長：坂本 功 東京大学名誉教授）において、新規技術「SPT 配管診断」の

審査を行い、評価の受付等を行った。

また、評価技術である「ハイブリッドクイック工法 (D's ハイブリッドクイック工法)」、「ニュークイック [HORICON] 工法」、「スマートタイルセイバー」については、機関誌 BELCA NEWS、ホームページ、セミナー等で周知を行った。

4. ロングライフ化を推進するための共益事業等

(1) 会員向けの情報提供・会員情報の発信

ホームページにおいて、会員のビルのロングライフ化に関する取り組みをまとめた「会員ページ」、新技術・新事業等説明会の開催結果、診断実施会員リスト及び補修・改修実施会員リスト等の会員情報を発信した。ホームページ内に設けた「正会員専用ページ」においては機関誌 BELCA NEWS のバックナンバーの掲載を、「エンジニアリング・レポート作成者連絡会議専用ページ」においてはエンジニアリング・レポート作成者連絡会議の活動の情報提供を行った。

「BELCA 会員名簿 2023～2024」を発行するとともに、BELCA NEWS のトップ・オピニオンや会員コーナーで会員の活動を情報発信した。また、次の展示会において、補修や改修に関する会員のパンフレットを配布するなど、会員の情報を発信した。

名称	主催	開催期間
第 27 回リフォーム&リニューアル 建築再生展 2023	建築再生展実行委員会	令和 5 年 5 月 31 日～6 月 2 日
第 25 回不動産ソリューションフェア	(株)ビル経営研究所	令和 5 年 11 月 15 日～17 日

(2) エンジニアリング・レポート (ER) の品質の確保と普及

ER 作成技術及び ER の品質の向上等のため、ER 作成者連絡会議において全体会議、幹事会、分科会等で情報収集、研修に努めるとともに、今後の ER の活用・普及のための活動方策について検討した。

1) 全体会議

全体会議（議長：土佐林 忠史 (株)シティエボリューション）を 1 回開催し、令和 4 年度活動報告の承認及び幹事の選任を行った。また、「建築物の運用時環境性能評価の必要性～カーボンニュートラル社会の実現に向けて」と題する講演会（再掲）の開催に協力した。

2) 幹事会

幹事会（幹事長：土佐林 忠史 (株)シティエボリューション）を 2 回開催し、ER 作成者連絡会議の活動計画及び活動報告の作成、全体会議の企画等に関する調整を行った。

3) 普及委員会

委員会（委員長：織田 雄洋 (株)東京建築検査機構）を 2 回開催するとともに、ER ハンドブック Q&A の改訂作業等に協力した。

また、WEB セミナー『「ER ハンドブック」(第 2 版)を用いて ER 作成の専門家が解説 不動産投資・取引におけるエンジニアリング・レポート (ER) の意義・活用の仕方』(再掲)の開催に協力した。

4) 技術委員会

建物状況調査分科会を 2 回（地震リスク評価分科会との合同開催含む）、建物環境・土壌汚染リスク評価分科会を 2 回、地震リスク評価分科会を 2 回（建物状況調査分科会との合同開催含む）開催し、情報収集・意見交換を行った。それぞれの分科会で、ERGL 改訂に向けた意見交換を行った。

(3) 耐震診断評定事業の実施

耐震診断については名古屋委員会（委員長:小濱 芳朗 名古屋市立大学名誉教授）で 21 棟の評定を行った。

(4) マンション定期診断の周知

マンションの定期的な診断の普及を図るため、BELCA が定める登録基準を満たす正会員 3 社を「マンションドック」として登録し、BELCA ホームページや展示会等で周知した。

* 令和 5 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 3 4 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、附属明細書を作成しない